

する場を設けて、我々青年部でできることを考えていかなければと思います。

青年部とは、孤立しがちな農作業の中、同じ苦勞を抱える盟友との仲間作りの場でもあり、共に学び、共に挑戦し、助け合いが出来る組織だと考えています。先輩方が残してくれた思いや努力をこれからも後輩に引き継ぎ青年部活動、そしてJAたきかわの発展に貢献していきたいと考えております。

活動にあたり助言や激励を下さった盟友の皆様と、数多くの協議を重ねてきた本部役員の皆様には充実した1年間を過ごさせていだいたこと、誠に感謝申し上げます。

最後になりますが、青年部盟友の皆様並びに、組合員・JA職員・関係関連機関の皆様のご発展、ご家族のご健勝とご多幸を御祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

JAたきかわ女性部

部長 向井紀子

新年明けましておめでとうございます。

新しい年を皆様ご健勝で迎えられたこと、心よりお慶び申し上げます。

組合員部員の皆様におかれましては日頃より女性部活動にご理解、ご協力いただいておりますこと厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、年々エスカレートする温暖化のため、作物の管理も難しく減収した作物もありました。幸いにして大きな自然災害はありませんでしたが全国各地では多発しており、被害を受けられた皆様には心よりお見舞い申し上げます。

米不足のため備蓄米を放出しても価格は下がらず、あらゆる食料品の値上がりとなり消費者は大変苦しい思いをしました。これまでに赤字続きだった米農家もようやく利益が出て安心してありますが、むしろ米が余るのではと不安もあ

り、農業を持続していける様に適正に支える価格を望みます。各支部としては小学校、保育所へは雑巾、学校給食へはみその寄贈、そして市民への加工品作りの指導等で地域貢献しております。

女性部は食の安心安全を通して家族の健康を守り、地域のつながりを深め、元気で輝いていられる様、本年も関係機関各位の皆様の指導ご鞭撻をいただきながら進めて参りたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

令和7年産の五穀豊穡に感謝

11月23日（日）滝川神社にて、五穀豊穡を神様に報告する「新穀感謝祭」が執り行われました。

新穀感謝祭では、JAをはじめ関係者各位が出席し、修祓、祝詞奏上、祭詞奏上の順に執り行われ、山岸組合長より祭文にて本年の各農産物の収穫が終了したことを報告致しました。玉串奉奠では関係者各位より順に行い、感謝の意を神様に報告することが出来ました。

参加された皆様からは「来年は実り多き年になることを願いたい」との声が聴かれました。

